

アドルフォ・サルコリの音楽活動に関する研究(11) —シチリアにおける演奏活動—

A study of Adolfo Sarcoli's Music Activities in Italy(11)
—Focusing on Sarcoli's Performances in Sicily—

直 江 学 美 (人間科学部こども学科教授)

Manami NAOE (Faculty of Human Sciences, Department of Child Study, Professor)

〈要旨〉

本研究では、現地調査を行い、アドルフォ・サルコリ (Adolfo Sarcoli: 1867-1936) の1897年のオペラデビューから1911年の来日までのキャリアを明らかにする。現地調査は、2023年9月にシチリアのアチレアーレ、カターニア、ノート、シラクァーザの4地域でおこなった。

現地調査を通して、サルコリがカターニアを代表する大劇場でオペラを演じた記録は見つからなかったが、それでも大劇場に準ずる劇場での出演は複数回あり、いずれの役も主要なものであった。1900年前後のイタリアには小さな劇場が多くあり、カターニアだけでも多くの演奏家が入れ替わり出演し、多くのオペラが上演されていた。その中でもサルコリは、比較的大きな劇場に複数回呼ばれていた。また、サルコリが1899年7月20日に出演した、カターニアのベネデッティーニ寺院でのオラトリオ《ラザロの復活》は、シチリア中から1万人を超える観客が集まる大きな演奏会であった。この《ラザロの復活》は、サルコリはティッタ・ルッフォ (Titta Ruffo: 1877-1953) から演奏会の出演をオファーされていたことを示す文献が今回の調査で見つかった。本研究により、サルコリは大劇場に準ずる劇場での歌唱経験および多くのレパートリーを持つという十分なキャリアを持つテノール歌手であったことが示された。そのサルコリが来日した1911 (明治44) 年頃の日本では、オペラのアリアでさえなかなか聴けない時代であった。

〈キーワード〉

アドルフォ・サルコリ, ベル・カント, イタリアオペラ

1 はじめに

アドルフォ・サルコリ (Adolfo Sarcoli: 1867-1936) は30歳の時にオペラデビューをはたす。1897年12月23日 (木)、イタリアのシエナにあるリンヌォヴァーティ劇場 (Teatro dei Rinnuovati) で上演された、ポンキエッリ (Amilcare Ponchielli: 1834-1886) 作曲、歌劇《ラ・ジョコンダ》のエンツォ役であった。

当時の新聞には「(マエストロ・ジョルジョ・スッリの教え子である) テノールの、我々がシエナ市民アドルフォ・サルコリは、彼が珍しい、本当に重要な役柄でのデビューになったことから観客の関心の的となっていたが、その大舞台を見事に成功させた。彼は最も素晴らしい美声の持ち主の一人で、その声は、玉を転がすような、特に高音部の非常に澄んだテノールであり、それが彼のオペ

ラ歌手としての素質や明確で正確なフレージングと一緒に、また新人にはたぐいまれなほどの演技力も証明された。彼がすばらしく朗唱し、復唱したロマンツァは、熱狂的な感興を呼び起こした」とあり、サルコリは、恩師のもと、生まれ故郷のシエナでオペラデビューを果たしたことがわかっている (直江2022)。

サルコリは1911 (明治44) 年に来日した。1897年のデビューから来日までの間に、イタリアでどのようなキャリアを重ねた歌手であったのかについてはまだ明らかでない部分が多い。日本では、サルコリは多くのオペラレパートリーを持った歌手であるとされていたが、当時、オペラを全幕上演する力を持ち合わせていなかった日本において、サルコリがオペラを全幕歌った記録は無く、サルコリのオペラ歌手としてのキャリアはあくまでも伝聞であった。本稿

では、サルコリのデビューから来日までの演奏活動を調査し、サルコリのオペラ歌手としてのキャリアを明らかにする。

サルコリの演奏活動がまとめられている唯一のウェブサイト“La voce antica”によると、サルコリは、1899年2月にシチリアのノート（Noto）にあるマッシモ・コムナーレ劇場（Teatro Massimo Comunale）で、歌劇《ラ・ボエーム》のロドルフォ、《マノン・レスコー》のデ・グリユー、《リゴレット》のマントヴァ侯爵を演じる。その後、4-5月にはシチリアのアチレアレ（Acireale）にあるベッリーニ劇場（Teatro Bellini）、カタニーア（catania）にあるテアトロ・ナツィオナーレ（Teatro Nazionale）でほぼ同じ演目を演じている。

また、6月にはシチリアのシラクザ（Siracusa）にあるテアトロ・コムナーレ（Teatro Comunale）で、歌劇《ラ・ジョコンダ》のエンツォ、《ラ・ファヴォリータ》のフェルナンドを演じた。7月にカタニーアのテアトロ・ナツィオナーレ、8-9月にはノートのマッシモ・コムナーレ劇場でサルコリは同じ役を演じている。

サルコリは、同年9月からは、ナポリから60キロは

ど離れたサレルノ（Salerno）にあるヴェルディ劇場（Teatro Verdi）や、ナポリのメルカダンテ劇場（Teatro Mercadante）でオペラを演じたことが記録に残っているが、翌1900年に再びシチリアの劇場を訪れる。

1900年2月にはトラパニ（Trapani）のガリバルディ劇場（Teatro Garibaldi）とカルタニッセッタ（Caltanissetta）のレジナ・マルゲリータ劇場（Teatro Regina Margherita）で、オペラ《ラ・ボエーム》のロドルフォ、《ファウスト》のファウスト、《運命の力》のドン・アルヴァーロを演じた。

（表1）に現在明らかになっているサルコリの演奏活動を並べる。これによると、デビューから来日までの間にシチリアでの公演が多いことがわかる。オペラ歌手は、この劇場で何を演じているかによってもその力量がわかる。

サルコリが舞台に立った劇場がどのようなものであったかについて、2023年9月1日から9月7日にかけて、シチリアを中心に調査をおこなった。本稿では、調査結果の報告をおこない、サルコリの音楽家としてのキャリアについて考察したい。

（表1）サルコリの演奏活動（“La voce antica”の情報をもとに筆者まとめ）

年	月	都市名	地域・国	劇場名	演目（役）
1899	2	Noto	シチリア(イタリア)	Teatro Massimo Comunale	BOHEME (Rodolfo) / MANON LESCAUT (De Grioux) / RIGOLETTO (Duca)
1899	4-5	Acireale	シチリア(イタリア)	Teatro Bellini	BOHEME (Rodolfo) / MANON LESCAUT (De Grioux) / RIGOLETTO (Duca)
1899	5	Catania	シチリア(イタリア)	Teatro Nazionale	BOHEME (Rodolfo) / RIGOLETTO (Duca)
1899	6	Siracusa	シチリア(イタリア)	Teatro Comunale	GIOCONDA (Enzo) / FAVORITA (Fernando)
1899	7	Catania	シチリア(イタリア)	Teatro Nazionale	GIOCONDA (Enzo)
1899	8-9	Noto	シチリア(イタリア)	Teatro Massimo Comunale	GIOCONDA (Enzo) / FAVORITA (Fernando)
1899	8	Catania	シチリア(イタリア)	Tempio dei Benedettini	LA RESURREZIONE DI LAZZARO di L.Perosi (Storico)
1899	9	Salerno	ナポリ(イタリア)	Teatro Verdi	BOHEME (Rodolfo) / FAUST (Faust) / RIGOLETTO (Duca)
1899	9	Napoli	ナポリ(イタリア)	Teatro Mercadante	FAVORITA (Fernando)
1900	2	Trapani	シチリア(イタリア)	Teatro Garibaldi	BOHEME (Rodolfo)
1900	4	Corato	南イタリア	Teatro Comunale	FAUST (Faust) / RIGOLETTO (Duca)
1900	4	Corato	南イタリア	Teatro Regina	BOHEME (Rodolfo) / FAUST (Faust) / FORZA DEL
1900	5-6	Caltanissetta	シチリア(イタリア)	Teatro Regina Margherita	BOHEME (Rodolfo) / FAUST (Faust) / FORZA DEL DESTINO (Don Alvaro)
1901	11-12	Catania	シチリア(イタリア)	Teatro Principe di Napoli	BOHEME (Rodolfo) / FAVORITA (Fernando) / CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu) / PAGLIACCI (Canio)
1902	1	Catania	シチリア(イタリア)	Teatro Principe di Napoli	GABRIELLA di G.Serrao (Gianni)
1902	3	Malta	マルタ共和国	Teatro Reale	FEDORA (Loris)
1902	8	Siena	イタリア	Teatro Della Lizza	FEDORA (Loris)
1902	10	Bergamo	北イタリア	Teatro Nuovo	BOHEME (Rodolfo)
1903	7	Costantinopoli	イスタンブール	Teatro Petit Champs	MANON LESCAUT (De Grioux)
1903	11	Bucarest	ルーマニア	Teatro Nazionale	RIGOLETTO (Gilda)
1903	1-2	Bucarest	ルーマニア	Teatro Nazionale	GIOCONDA (Enzo) / BOHEME (Rodolfo) / PAGLIACCI (Canio)
1904	11	Bucarest	ルーマニア	Teatro Lirico	STAGIONE
1905	1	Milano	北イタリア	Teatro Dal Verme	GIOCONDA (Enzo)
1905	11	Valladolid	スペイン	Teatro Calderon	STAGIONE
1905	12	Bilbao	スペイン	Teatro Arriaga	CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu) / FAUST (Faust) / LOHENGRIN (Lohengrin) / TOSCA (Cavaradossi) / PAGLIACCI (Canio)
1905	12	Logrones	スペイン	Teatro Herres	PAGLIACCI (Canio)
1906	2	Corfù	ギリシャ	Teatro Comunale	BOHEME (Rodolfo) / TOSCA (Cavaradossi)
1906	3	Taranto	南イタリア	Teatro Paisiello	BOHEME (Rodolfo) / BOHEME (Rodolfo) / CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu) / FAUST (Faust) / PAGLIACCI (Canio) /
1906	10-12	Bucarest	ルーマニア	Teatro Nazionale	BOHEME (Rodolfo) / CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu) / FAUST (Faust) / PAGLIACCI (Canio) / TOSCA (Cavaradossi)
1907	4	Cairo	エジプト	Teatro Abbas	CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu)
1907	5	Costantinopoli	イスタンブール	Teatro Varietes	AIDA (Radames) / MANON LESCAUT (De Grioux)
1908	1	Siracusa	シチリア(イタリア)	Teatro Comunale	TOSCA (Cavaradossi)
1908	5	Catania	シチリア(イタリア)	Teatro Sangiorgi	CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu) / FEDORA (Loris) / PAGLIACCI (Canio)
1908	10	Novara	北イタリア	Teatro Coccia	FEDORA (Loris)
1908	11	Catania	シチリア(イタリア)	Teatro Sangiorgi	BOHEME (Rodolfo)
1909	3	Siracusa	シチリア(イタリア)	Teatro Comunale	WALLY (Hagenbach)
1909	1-2	Trapani	シチリア(イタリア)	Teatro Garibaldi	BOHEME (Rodolfo) / WALLY (Hagenbach)
1910	8	Castiglione delle Stiviere	北イタリア	Teatro Sociale	TOSCA (Cavaradossi)
1910	10	Bucarest	ルーマニア	Teatro Nazionale	CAVALLERIA RUSTICANA (Turiddu)
1910	11	Manila	フィリピン	Teatro Zorillo	STAGIONE

2 シチリアでの演奏活動

2-1 サルコリが舞台に立った劇場・寺院

サルコリのシチリアでの演奏活動について、地域名・開催年および月・場所名を並べる。(なお、順番は地域のアルファベット順とし、①-⑨の番号は筆者が付した。)

・アチレアーレ (Acireale)

1899年4-5月

①ベッリーニ劇場 (Teatro Bellini)

・カルタニッセッタ (Caltanissetta)

1900年5-6月

②レジーナ・マルゲリータ劇場 (Teatro Regina Margherita)

・カタニア (Catania)

1899年5月, 7月

③テアトロ・ナツィオナーレ (Teatro Nazionale)

1901年11-12月, 1902年1月

④プリンチペ・ディ・ナポリ劇場 (Teatro Principe di Napoli)

1908年5月, 11月

⑤サンジョルジ劇場 (Teatro Sangiorgi)

1899年8月

⑥ベネデッティーニ寺院 (Tempio dei Benedettini)

・ノート (Noto)

1899年2月, 8-9月

⑦マッシモ・コムナーレ劇場 (Teatro Massimo Comunale)

・シラクーザ (Siracusa)

1899年6月, 1908年1月, 1909年3月

⑧テアトロ・コムナーレ (Teatro Comunale)

・トラパニ (Trapani)

1900年2月, 1909年1-2月

⑨ガリバルディ劇場 (Teatro Garibaldi)



(図1) サルコリのシチリアにおける演奏場所

2023年9月に調査したのは、シチリアのアチレアーレ、カタニア、ノート、シラクーザの4地域である。

この4地域にある、サルコリが演奏活動をおこなったとされる①③④⑤⑥⑦⑧7つの場所を順に報告する。

①アチレアーレ：ベッリーニ劇場 (Teatro Bellini)

アチレアーレの小路地の一角に建物が残っていたが、地元の人話では、1950年はじめに火事で燃えてしまい、その後復旧していないとのことであった。外から見る限りでは、火災の跡はなかったが、ひっそりとしていた(写真1)。



(写真1) ベッリーニ劇場
2023年9月(筆者撮影)
住所: Via Romeo, 55-65, Acireale

③カタニア：テアトロ・ナツィオナーレ (Teatro Nazionale)

該当する劇場は見つけることができなかった。

④カタニア：プリンチペ・ディ・ナポリ劇場 (Teatro Principe di Napoli)

今回の現地調査中に、該当する劇場は見つけることができなかったが、“Musica, Musicisti e teatri”に1930年代の劇場内の写真が掲載されていた(写真2)。1階席が平土間になっており、その両脇にはいわゆるボックス席が4階ま



L'interno del Teatro Principe di Napoli in una foto degli anni Trenta.

(写真2) L'interno del Teatro Principe di Napoli in una foto degli anni Trenta. (1930年代の、プリンチペ・ディ・ナポリ劇場内部の写真)

で確認できる(“Musica, Musicisti e teatri”p.192)。

舞台上から見て、客席の奥にも2階3階とつながるような階段状の座席があるのが分かる。写真を見る限り、大劇場では無いものの、多くの観客を収容できる大きさであったようである。

サルコリは、このプリンチペ・ディ・ナポリ劇場で1901年11月から1902年1月にかけて上演されたオペラに出演している。歌劇《ラ・ボエーム》のロドルフォ、《ラ・ファヴォリータ》のフェルナンド、《カヴァレリア・ルスティカーナ》のトゥリッドゥ、《パリアッチ》のカニオ、セーラオ作の《ガブリエッラ》のジャンニ役という5つもの役を3カ月の間に演じている。

⑤カターニア：サンジョルジ劇場 (Teatro Sangiorgi)

サンジョルジ劇場が落成する10年前に、カターニアを代表するマッシモ・ベッリーニ劇場 (Teatro Massimo Bellini) が1890年5月に落成した。マッシモ・ベッリーニ劇場には、錚々たるイタリアの歴代オペラ歌手が舞台に立っている。今回の調査では、サルコリが、ベッリーニ劇場で歌った記録は見つからなかった。

サンジョルジ劇場は、そのマッシモ・ベッリーニ劇場の近くに建てられ、1900年7月7日に落成した(写真3)(写真4)。

477席あり、2025年現在はマッシモ・ベッリーニ劇場と同じ団体が運営している。

サンジョルジ劇場でサルコリが演じたのは、1908年5月に上演された歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》のトゥリッドゥ、《フェードラ》のロリス、《パリアッチ》のカニオ、同年11月に上演された《ラ・ボエーム》のロドルフォ役である。



(写真3) サンジョルジ劇場 正面
2023年9月 (筆者撮影)
住所: Via Antonino di Sangiuliano,
233, Catania



(写真4) サンジョルジ劇場 (左から2棟目の建物)
2023年9月 (筆者撮影)

⑥カターニア：ベネデッティーニ寺院 (Tempio dei Benedettini)

ベネデッティーニ寺院で、サルコリはオペラではなくオラトリオ《ラザロの復活》(LA RESURREZIONE DI LAZZARO di L.Perosi) に語り (Storico) として出演した。



(写真5) ベネデッティーニ寺院
2023年9月 (筆者撮影)
住所: Piazza Dante Alighieri, 32, Catania

⑦ノート：マッシモ・コムナーレ劇場 (Teatro Massimo Comunale)

該当する劇場は見つけることができなかった。

ただし、同コムーネにある別の劇場 (Teatro comunale Tina Di Lorenzo) の係員によれば、「サルコリが活躍していた1900年頃は、小さな劇場もたくさんあり、演者もたくさんいた。そして、そのうちオペラがだんだん高価なものになっていった」とのことであった。

⑧シラクーザ：テアトロ・コムナーレ (Teatro Comunale)

サルコリは、シラクーザのテアトロ・コムナーレで上演

されたオペラに1899年6月, 1908年1月, 1909年3月の3シーズン出演している。サルコリが出演した当時の客席数は700席であった。

サルコリがテアトロ・コムナーレで演じたのは、歌劇《ラ・ジョコンダ》のエンツォ, 《ラ・ファヴォリータ》のフェルナンド, 《トスカ》のカヴァラドッシ, 《ラ・ワリー》のハーゲンバッハ役であった。



(写真6) テアトロ・コムナーレ
2023年9月 (筆者撮影)
現: Teatro Comunale di Siracusa
住所: Via del Teatro, Siracusa

2023年9月に調査した, アチレアーレ, カターニア, ノート, シラクザの4地域の, サルコリが演奏活動をおこなったとされる①③④⑤⑥⑦⑧ 7つの場所を順に報告した。

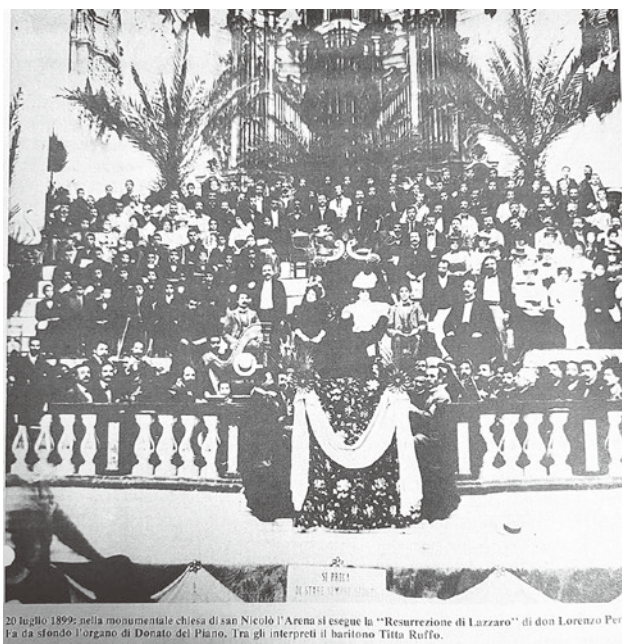
劇場は, 大劇場ではなく大劇場に準ずる劇場であった。特にカターニアでのオペラ出演に関しては, 近くにマッシモ・ベッリーニ劇場があるが, サルコリが出演したのは, 規模が小さいサンジョルジ劇場の方である。

マッシモ・ベッリーニ劇場は, トティ・ダル・モンテ, マリア・カラス, カバリエ, スコット, フレーニ, スキパ, ジリ, コレリ, パヴァロッティ, ペルティエーレ, デル・モナコなど歴代のオペラ歌手が出演しているカターニアを代表する劇場である(“TEATRO MASSIMO BELLINI” “Il Teatro Massimo Bellini”)。

2-2 《ラザロの復活》

サルコリが出演した, ベネデッティーニ寺院での《ラザロの復活》の写真が残されていた(写真7)。

ソリストのうち左端の男性がサルコリと思われる。若き日のティッタ・ルッフォとサルコリが並ぶ貴重な写真であ



(写真7) オラトリオ《ラザロの復活》
“Musica, musicisti e teatri a Catania” p.384

る。写真の下には, 次の文字が記されている。

20 luglio 1899: nella monumentale chiesa di san Nicolò l'arena si esegue la “Resurrezione di Lazzaro” di don Lorenzo Poresi. Fa da sfondo l'organo di Donato del Piano. Tra gli interpreti il baritone Titta Ruffo.

《ラザロの復活》は1899年7月20日におこなわれ, 出演者の中にバリトンのティッタ・ルッフォ(Titta Ruffo: 1877-1953) がいた。ティッタ・ルッフォが伝えるには「イエスが自分に任され, ほかのソリスト役の委託も自分に任され, サルコリに委託した」とある(同397頁)。

この演奏会には, 多くの司祭と神学生がシチリア中からカターニアに集まった。観客は1万人以上にのぼったという。

2-3 サルコリの音楽活動

“Musica, musicisti e teatri a Catania”(カターニアの音楽, 音楽家, そして劇場)に, シチリアの各劇場の主なコンサートおよび出演者の一覧がある。サルコリに関係するものを抜き出す。

・テアトロ・ナツィオナーレ1899年 主催: Cavallaro

歌劇《ラ・ボエーム》5月15日

Adaberto-Scalera/Chielotti-Sarcoli-Ruffo-Chiecchi-Venurini/D'Arrigo 監督:Doncich/Salibra

歌劇《リゴレット》5月26日

Adaberto-Farelli-Sarcoli-Ruffo-Venturini/Ronchietti

監督:Doncich.

1899 主催: Cavallaro

歌劇《ラ・ジョコンダ》7月25日

Giuliani/Antinori - Pozzi - Savoia - Sarcoli - Ruffo - Fabbro.

監督: Tarallo.

(“Musica, musicisti e teatri a Catania” p.538)

・プリンチペ・ディ・ナポリ劇場1901-1902年

主催: Cali, Aprea & Trapani

歌劇《ラ・ボエーム》11月9日

Tosi-G. Guidi/C. Guidi - Sarcoli/Fragapane - Schottler - Di Giacomo/Caruso - Roveri

監督: Tarantini/Commen- to/Bonsignore/Serrao.

歌劇《ラ・ファヴォリータ》11月30日

Tosi - Sarcoli - Schottler - Roveri

監督: Commento.

歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》12月14日

Tosi/Terribile - Santerrecchi - Sarcoli/Fragapane - Schottler

監督: Serrao.

歌劇《パリアッチ》12月28日

Tosi/G. Guidi/Terribile - Sarcoli - Schottler - Di Giacomo

監督: Serrao.

歌劇《ガブリエッラ・ディ・フランチェスコニ》

Serrao作(初演)1月16日

Tosi (Gabriella) - Sarcoli (Gianni) -

Schottler (Menico)

監督: Serrao.

(“Musica, musicisti e teatri a Catania”p.538)

・サンジョルジ劇場1908年 主催: Aprea

歌劇《フェードラ》5月20日

Motto - Concettinelli - Sarcoli - Alessi.

歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》5月27日

Motto - Concettinelli - Sarcoli - Alessi.

歌劇《パリアッチ》6月3日

Motto - Sarcoli - Alessi - Gorgone.

監督: Colucci.

1908年 主催: Aprea

歌劇《ラ・ボエーム》11月30日

Osti/Butti/Motto - Motto/Osion - Sciarretti/Sarcoli - Prudenza - Chisari - Ciccolini

監督: Mineo.

(“Musica, musicisti e teatri a Catania” pp.538,540)

オラトリオ《ラザロの復活》がおこなわれた1899年は、カタニアのテアトロ・ナツィオナーレで、サルコリとティッタ・ルッフォが、5月に歌劇《ラ・ボエーム》および《リゴレット》で共演しており、7月20日に《ラザロの復活》がおこなわれた5日後の7月25日には、歌劇《ラ・ジョコンダ》でも共演している。この頃サルコリとティッタ・ルッフォは多く共演を重ねていた。

1902年1月16日に演奏された、セーラオ作の歌劇《ガブリエッラ・ディ・フランチェスコニ》について、翌1月17日付“LA SICILIA”3面に講評が書かれていた。

「マエストロ・セーラオは昨晚、歌劇《ガブリエッラ》で大いに称賛されました。記録のため次のように記録します(…)テノール歌手のサルコリとグイディも好演し、拍手に値するものであった」

講評の後「今晚の番組」として、歌劇《ガブリエッラ》が午後8時半に開催されることが書かれていた。歌劇は何日か続けての公演であったようである。

2-4 シチリアの劇場・音楽家

“Musica, musicisti e teatri a Catania”には、音楽家の名前一覧があり、カタニアで演奏歴のある約3,400名の名前およびサルコリが演奏した劇場の他にも数多くの劇場名が掲載されていた(‘Indice degli artisti in cronologia’ pp.631-647)。

サルコリが演奏した劇場はシチリアの劇場の中では比較的大きい。ノートにある劇場(Teatro comunale Tina Di Lorenzo)の係員が「サルコリが活躍していた1900年頃は、小さな劇場もたくさんあり、演者もたくさんいた。そして、そのうちオペラがだんだん高価なものになっていった」と述べたように、1900年頃のシチリアには多くの劇場があり、多くの演奏家がいた。サルコリもそれら多くの演奏家の一人ではあったが、サルコリの役はオペラの主役、もしくは主役級であり、同じ劇場に複数回呼ばれている。当時多くの音楽家がいたとは言え、サルコリは、一定の評価を得ていたことがわかる。

サルコリと共演し、また、サルコリにコンサートの出演も依頼していたことが明らかになったバリトンのティッ

タ・ルッフォは、その後世界で活躍する大歌手となる。

サルコリは、カターニアを代表するマッシモ・ベッリーニ劇場で演奏していた記録はなかったが、一流の歌手に準ずる歌手であったといえる。

3 おわりに

2023年9月におこなった、シチリアにおける調査結果を報告し、サルコリの音楽家としての力量や演奏活動について考察した。

調査では、シチリアの、アチレアーレ、カターニア、ノート、シラクザーの4地域にある7つの劇場について調べたが、サルコリが出演した劇場は大劇場に準ずる劇場であったことが示された。

サルコリが来日する前、1900年前後のイタリアには大小さまざまな劇場があり、カターニアだけでも多くの演奏家がいたが、サルコリは大劇場に準ずる劇場での複数回のオ

ペラに出演していた。また、1899年7月20日にカターニアのベネデッティーニ寺院でおこなわれたオラトリオ《ラザロの復活》では、サルコリは、のちに世界で活躍するティッタ・ルッフォから演奏会の出演をオファーされていたことがわかった。この音楽会は、1万人を超える大音楽会であった。サルコリは歌手として一定の評価を得ていたといえる。

サルコリのシチリアの音楽活動だけをみても、大劇場に準ずる劇場での歌唱経験および数多くのレパートリーを持つという十分な力を備えているテノール歌手であったことがわかる。そのサルコリが来日した1911（明治44）年頃の日本では、オペラのアリアでさえなかなか聴けない時代であった。

[本研究は、文部科学省より科学研究費：基盤研究（C）（21K00238）の助成を受けたものである。]

引用・参考文献

直江学美 2022「アドルフォ・サルコリの音楽活動に関する研究(9)―デビューに関する記事より―『金沢星稜大学人間科学研究』第16巻第1号、17-22頁。

D. Danzuso G. Idonea, "Musica, musicisti e teatri a Catania (dal mito alla cronaca) " Pubblisicula Palermo 1990

'TEATRI Principe di Napoli' "LA SICILIA" 1902.1.17,p.3

'TEATRI SPETTACOLI DI QUESTA SERA' "LA SICILIA" 1902.1.17,p.3

"ITCatania"

'teatro Sangiorgi, un teatro da vivere e scoprire'

<https://catania.italiani.it/il-teatro-sangiorgi-un-teatro-da-vivere-e-scoprire/>
(2025年1月6日閲覧)

"La voce antica"

'Adolfo Sarcoli'

<http://www.lavoceantica.it>
(2025年1月6日閲覧)

"TEATRO MASSIMO BELLINI"

'Ti Teatro Sangiorgi'

<https://www.teatromassimobellini.it/il-teatro-sangiorgi/>

'Il Teatro Massimo Bellini'

<https://www.teatromassimobellini.it/il-teatro-massimo-bellini/>

(2025年1月6日閲覧)

"TEATRO MASSIMO di CITTA SIRACUSA"

'Storia del Teatro comunale di Siracusa'

<https://www.teatromassimosiracusa.it/storia-del-teatro-comunale-di-siracusa/>

(2025年1月6日閲覧)

"TEATRO DELLA CITTA"

'Teatro Massimo Città di Siracusa'

<http://www.teatrodellacitta.it/teatri/teatro-massimo-citta-di-siracusa/#:~:text=Si%20tratta%20di%20un%20teatro,una%20capienza%20di%20700%20posti.>

(2025年1月6日閲覧)

